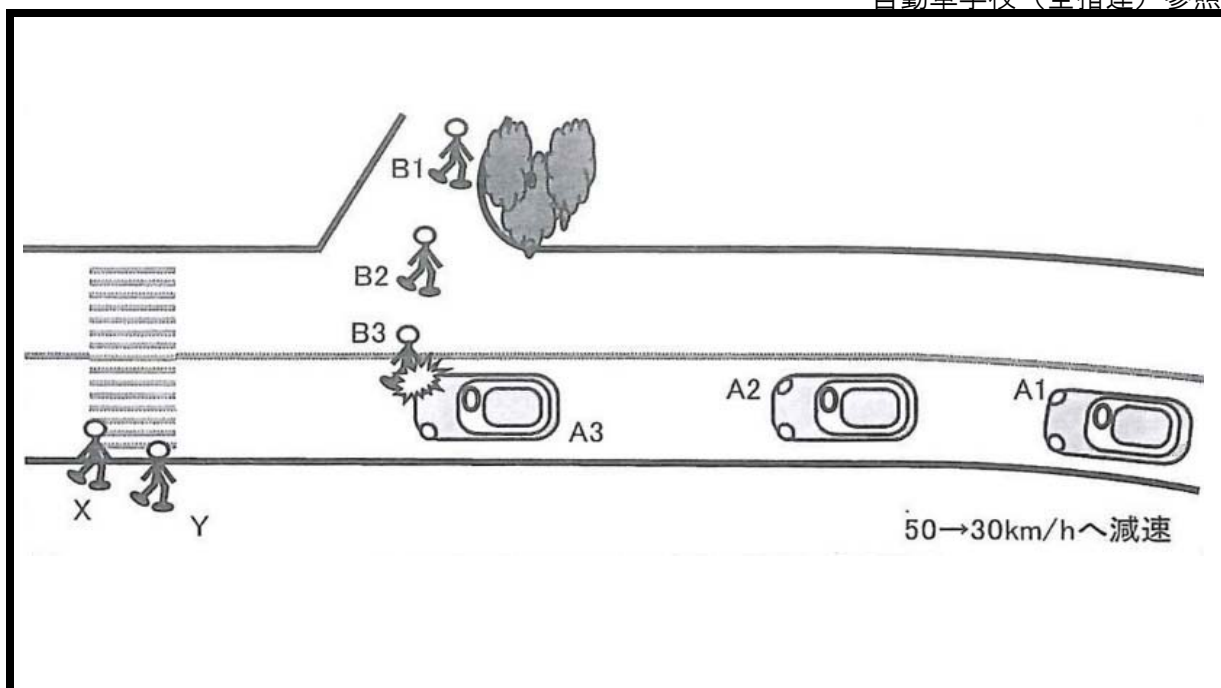


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：横断中

発生日時：8月 午後5時30分頃 晴れ

当事者A：普通乗用車 40歳代 男性

当事者B：歩行者 幼児 女性

■ 事故の概要

Aは、毎日通る道路を時速約50kmで走行中、50～60m先の道路左側の横断歩道のところに歩行者X、Yが立っているのを発見し、用心のため時速約30kmに減速しました。このとき、樹木の陰になっていたBはまだ見えませんでした。Aは注意を歩行者X、Yに向けたまま走り続けていると、前方約16mのところを、Bが道路右側から駆け足で飛び出してきたのに気づき、急ブレーキを掛けましたが間に合わず衝突してしまいました。

一方、Bは道路向かい側にいる家族のところへ行くことだけに注意を奪われており、車が少なかったこともあって、安全を確認しないで駆け出したもので、A車には衝突するまで気がつきませんでした。

■ 事故から学ぶ

Aは、横断歩道のところに歩行者が立っているのを見つけたのですから、その動静を注意するとともに、横断に備えて減速することは言うまでもなく、さらに、周囲にも気を配り他の歩行者等の有無にも注意する必要があります。

Bについては、基本的な交通マナー、ルールを確実に身につけさせることが大切です。そして、保護者は、幼児と道路を通行するときは、幼児を一人にしないで手をつなぐなどして、安全を確保することが最も重要なことです。